

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】 (4館共通) 1) 国内の博物館等で開催する展覧会等へ収蔵品を貸与する。 (東京国立博物館・奈良国立博物館) 1) 国内の公私立博物館と考古資料の相互貸借を実施する。 (東京国立博物館) 1) 長崎歴史文化博物館の平常展示のため、引き続き長期貸与する。 2) 海外の美術館・博物館等で開催する展覧会へ貸与する (海外交流展出品作品を含む)。								
担当部課	学芸研究部列品管理課			事業責任者	課長 救仁郷秀明			
【実績・成果】 (4館共通) 1) 国内の博物館等111機関に783件の作品を貸与した。 (東京国立博物館・奈良国立博物館) 1) いわき市考古資料館、和歌山県立紀伊風土記の丘と協力して、考古資料の相互貸借を実施した。 (東京国立博物館) 1) 長崎歴史文化博物館の平常展示のため、年度を越えた長期貸与を実施した。 2) 海外の博物館等6機関に131件の作品を貸与した。 海外交流展として2機関に116件を出品した。								
【補足事項】 (4館共通) 1) 東京国立博物館収蔵品貸与促進事業として、秋田県立近代美術館「Ippin! 逸品 明治工芸の至宝展」(会期：9月23日～11月26日)に8件、福島県立博物館の29年度企画展「山水憧憬 一雪舟・蕪村・応挙 水墨の山野に遊ぶ」(会期：30年1月13日～2月28日)に19件を貸与した。 (東京国立博物館・奈良国立博物館) 1) 東京国立博物館では、考古資料相互貸借事業経費により、いわき市考古資料館に9件、和歌山県立紀伊風土記の丘に20件を貸与して、いわき市考古資料館から62件、和歌山県立紀伊風土記の丘から13件を借用した。借用品により、特集「いわきの考古学―貝塚と横穴墓―」(会期：9月26日～12月25日)、特集「和歌山の埴輪―岩橋千塚と紀伊の古墳文化―」(会期：30年1月2日～3月4日)を開催した。 (東京国立博物館) 2) 英国大英博物館で開催された「北斎―富士を超えて―」には、4件の文化財を貸与し、関連するシンポジウムに2名、作品展示・撤収・輸送随伴に2名の人員を派遣した。 2) 海外交流展 ・バンコク国立博物館 日タイ修好130周年記念「日本美術のあゆみ―信仰とくらしの造形―」展 出品件数：86件 ・韓国国立中央博物館 韓日中国立博物館合同企画特別展「東アジアの虎美術―韓国・日本・中国―」 出品件数：30件								
【定量的評価】 項目	29年度実績	目標値	評定	経年変化	25	26	27	28
貸与件数	914件	-	-		1,137	1,130	991	946
うち国内の貸与件数	783件	-	-		1,086	1,059	909	750
うち国外の貸与件数	131件	-	-		51	71	82	196
【年度計画に対する総合評価】 評定：B	【判定根拠、課題と対応】 国内外の博物館等117機関に914件の作品の貸与を行った。29年度から東京国立博物館収蔵品貸与促進事業を開始し、秋田県立近代美術館と福島県立博物館に27件を貸与するなど、例年通りの貸与業務を行うことができた。タイ王国バンコク国立博物館における海外交流展には、国宝・重要文化財を含む86件の文化財を出品し、展示デザイン・展示環境に関する指導を行った。							
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】 評定：B	【判定根拠、課題と対応】 中期計画に基づき、いわき市考古資料館や大英博物館など国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、例年通りの規模で貸与を実施することができた。貸与件数自体は近年減少傾向にあるが、次年度以降も内外の重要な展覧会に有意義な貸与を実施し、外部の博物館活動に対して重要な寄与を果たしていく予定である。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】 (4館共通) 1) 国内の博物館等で開催する展覧会等へ収蔵品を貸与する。								
担当部課	学芸部	事業責任者	列品管理室長 宮川禎一					
【実績・成果】 (4館共通) 1) 国内外あわせて62機関（機関は延べ件数）に対し、計349件の収蔵品・寄託品貸与を行った。 収蔵品の貸与件数：193件 寄託品の貸与件数：156件 計：349件								
【補足事項】 1) 収蔵品の貸与に際しては、貸出先施設の保管体制、警備体制、虫害対策等を総合的に判断しながら先方の要望に応じた。 具体的な例としては、奈良国立博物館の特別展「源信 地獄・極楽への扉」に国宝8件、重文10件、東京国立博物館の特別展「仁和寺と御室派のみほとけ - 天平と真言密教の名宝 -」展に国宝8件、重文13件、九州国立博物館の特別展「王羲之と日本の書」に国宝6件、重文5件を含む収蔵品・寄託品の貸与を行った。 また、平成27年度に当館が購入した重要文化財「寸松庵色紙（ちはやふる）」を公益財団法人出光美術館の企画展「書の流儀Ⅱ - 美の継承と創意」に貸与した。								
<ul style="list-style-type: none"> 貸与先の62機関の内訳 国立13機関、公立29機関、私立18機関、海外2機関 貸与作品349件（館蔵品193件、寄託品156件）の内訳 国宝33件（館蔵品16件、寄託品17件） 重要文化財126件（館蔵品75件、寄託品51件） その他190件（館蔵品102件、寄託品88件） 								
要文化財 寸松庵色紙（ちはやふる） （出光美術館の企画展「書の流儀Ⅱ - 美の継承と創意」貸与品）								
								
【定量的評価】項目	29年度実績	目標値	評価	経年変化	25	26	27	28
貸与件数	349件	-	-		626	582	303	367
うち国内の貸与件数	336件	-	-	変	623	570	293	365
うち国外の貸与件数	13件	-	-	化	3	12	10	2
【年度計画に対する総合評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 収蔵品の保存状況と貸出先のコンディションを勘案しながら、国宝・重要文化財を含む収蔵品・寄託品を国内の博物館を中心に貸与を実施した。また、当館が購入した作品の貸与要請にも応じ、館蔵品として貸与することが出来た。30年度も引き続き、先方の要請に可能な範囲で応じていく予定である。							
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 収蔵品の保管・展示状況と貸出先のコンディションを勘案しながら先方の要請に適切に応じることができた。新規貸与先についても、貸与施設の展示・保管環境等を十分に考慮したうえで可能な範囲で要請に応じた。また、国外で開催された展覧会等においても同様に貸与を実施した。30年度以降も引き続き、要請に対し適切に貸与を行っていく予定である。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】 (4館共通) 1) 国内の博物館等で開催する展覧会等へ収蔵品を貸与する。 (東京国立博物館・奈良国立博物館) 1) 国内の公私立博物館と考古資料の相互貸借を実施する。								
担当部課	学芸部	事業責任者	部長 内藤栄					
【実績・成果】 (4館共通) 1) 収蔵品と寄託品を国内合わせて36の機関に、計210件の貸出を行った。 (東京国立博物館・奈良国立博物館) 1) 鳥取県立博物館および浜松市(浜松市地域遺産センター)との間で考古資料の相互貸借事業を実施した。								
【補足事項】 1) 収蔵品・寄託品の貸与 ・貸与先36機関の内訳 国立5件、公立21件、私立9件、海外1件 ・貸与作品210件の内訳 国宝48件(館蔵品13件、寄託品35件) 重要文化財58件(館蔵品16件、寄託品42件) その他104件(館蔵品47件、寄託品57件) 貸与した館蔵品76件の内訳 (絵画20件、彫刻5件、書跡11件、工芸19件、考古21件) 貸与した寄託品134件の内訳 (絵画60件、彫刻33件、書跡17件、工芸21件、考古3件) ・相互貸借事業における貸与・借用品数 浜松市(浜松市地域遺産センター)(貸与品:館蔵品2件、借用品:3件) 鳥取県立博物館(貸与品:館蔵品4件、借用品:6件)								
貸与品:重要文化財「金銅山代忌寸真作墓誌 戊辰十一年在銘」奈良県宇智郡大阿太村出土 館蔵品								
【定量的評価】項目	29年度実績	目標値	評定	経年 変化	25	26	27	28
貸与件数	210件	-	-		135	149	145	165
うち国内の貸与件数	205件	-	-		135	149	137	161
うち国外の貸与件数	5件	-	-		0	0	8	4
【年度計画に対する総合評価】 評定: B	【判定根拠、課題と対応】 三井記念美術館・あべのハルカス美術館・山口県立美術館を巡回した「奈良 西大寺」展に、国宝・重要文化財を含む多数の館蔵品・寄託品を貸し出したことにより、28年度よりも大幅に貸与件数が増え、奈良の歴史の発信に協力・貢献することができた。また、他の国内外の展覧会に十分に協力・貢献することができた。考古相互貸借事業を28年度に続いて実施しており、地域の文化財活用事業に貢献することができた。							
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】 評定: B	【判定根拠、課題と対応】 中期計画に基づき、貸与申請に対しては作品コンディション等を勘案して慎重な対応を行っており、相手博物館での事故防止、ひいては展覧会の充実・成功に貢献することができた。貸与実績も十分であり、中期計画の進展は順調と考えられる。							



中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】 (4館共通) 1) 国内の博物館等で開催する展覧会等へ収蔵品を貸与する。								
担当部課	学芸部文化財課	事業責任者	課長 河野一隆					
【実績・成果】 (4館共通) 1) 国内26機関・海外1機関に収蔵品および寄託品を貸与した。 (機関数は延べ数。東京国立博物館からの長期管理換品を含む。)								
【補足事項】 1) 国内の貸与先機関は、下記の通りである。								
<ul style="list-style-type: none"> ・国および国立機関 文化庁、東京国立博物館、京都国立博物館、奈良国立博物館、国立歴史民俗博物館 ・地方公共団体および公立博物館・美術館 (福岡県内) 九州歴史資料館、甘木市歴史資料館、伊都国歴史博物館、小郡市埋蔵文化財センター、求菩提資料館、福岡市博物館 (福岡県外) 島根県立古代出雲歴史博物館、峰町歴史民俗資料館、島根県立石見美術館、長崎歴史文化博物館、三重県立美術館、大分市歴史資料館、大分県立歴史博物館 ・私立博物館・美術館および私立団体 公益財団法人古都大宰府保存協会大宰府展示館、サントリー美術館 								
○海外の貸与先機関は、下記の通りである。 バンコク国立博物館 (タイ)								
								
<p>バンコク国立博物館 「日本美術のあゆみ—信仰とくらしの造形—」展出品 重要文化財 色絵藤棚文大皿</p>								
【定量的評価】項目	29年度実績	目標値	評価	経年変化	25	26	27	28
貸与件数	71件	-	-		143	101	90	83
うち国内の貸与件数	67件	-	-		117	89	88	72
うち国外の貸与件数	4件	-	-		26	12	2	11
【年度計画に対する総合評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 29年度は、件数的には減少したものの、貸与実績の無い資料館にも、文化財の安全確保を最優先にして規則に則りながら、活用を推進した。タイ・バンコク国立博物館への収蔵品の貸与は、東京国立博物館と共同し、日本文化の紹介と文化財を通じた交流という所期の目的を達成することができた。							
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 通常の貸与に加え、巡回展示などの機会を通じて公私立博物館等の展示の充実に寄与することができた。今後は中期計画に沿って、文化財の安全を最優先しつつ、主に貸与事業を通じた国内外での文化財活用の機会の拡大をはかっていきたい。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】 (4館共通) 1) 公私立の博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言を行う。 (東京国立博物館) 1) 新規貸与館に対する環境調査は、東京文化財研究所と協力して指導助言を行う。								
担当部課	学芸研究部 総務部	事業責任者	部長 田沢裕賀 部長 山下登					
【実績・成果】 (4館共通) 1) 公私立博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等に対し、138件の援助・助言を行った。 ・文化庁、地方公共団体、公私立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力 37件 文化庁、鎌倉市教育委員会、福岡市経済観光文化局、国立民族学博物館、陸前高田市博物館他 ・文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言 19件 国際交流基金、国立歴史民俗博物館、大和文華館他 ・文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導 22件 北京大学、宮内庁三の丸尚蔵館、法隆寺、八戸市立博物館他 ・講演・セミナー・審査等での協力 37件 文化庁、故宮博物院、大英博物館、茨城県博物館協会、愛知県陶磁美術館、長野県立歴史館他 ・博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言 23件 藤田美術館、大阪城天守閣、水戸芸術館、国立故宮博物院、岩手県立美術館、大エジプト博物館他 (東京国立博物館) 1) 新規貸与館に対する環境調査を実施し、東京文化財研究所と協力して指導助言を行った。 環境調査を実施した新規貸与館は11館。								
【定量的評価】 項目	29年度実績	目標値	評価	経年 変化	25	26	27	28
援助・助言等の件数	138件	-	-		114	119	139	120
【年度計画に対する総合評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 公私立博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等に対し、138件の援助・助言を行った。また、新規貸与館に対する環境調査を11館に対して行った。いずれも内容・質ともに適切に実施し、年度計画を順調に達成することができた。							
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、博物館関係者の情報交換・人的・文化財等防災ネットワークの形成等に努める。								
【中期計画に対する評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 中期計画期間に沿って、国内外の博物館等からの要請に応じて、適切に専門的・技術的な援助・助言を行うことができた。30年度以降も引き続き、可能な限り国内外の博物館等からの要請に積極的に応じていきたい。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】 (4館共通) 1) 公私立の博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言を行う。								
担当部課	学芸部	事業責任者	部長 山本英男					
【実績・成果】								
<ul style="list-style-type: none"> 文化庁、地方公共団体、公私立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力（各種委員会等の委員としての助言を含む）(65件) 文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言(2件) 文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導(28件) 講演・セミナー・審査等での協力(68件) 博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言(5件) 								
【補足事項】								
<ul style="list-style-type: none"> 文化庁、地方公共団体、公私立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力 滋賀県、島根県等の文化財保護審議会委員としての助言 坂本龍馬記念館リニューアル基本構想検討委員会委員としての助言 公益財団法人京都古文化保存協会評議員としての助言 法隆寺金堂壁画保存活用委員会ワーキンググループ専門委員としての助言 ICOM京都大会2019組織委員会、京都推進委員会、運営委員会の委員としての協力 文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言 特別展「幸村-奇想の誕生-」展示指導 「山本竟山の学問一湖南・雨山・鉄斎との文人交流ネットワーク」展覧会実施に関する指導・助言 文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導 野崎家塩業歴史館所蔵資料調査 粟生寺展に伴う文化財調査 キトラ古墳壁画の材料調査 講演・セミナー・審査等での協力 「幕末の動乱と坂本龍馬」講演会 講師 京都文化カプロジェクト推進フォーラムリレー対談 「考古学のおもしろさ」 講師 博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言 茶道資料館客員研究員としての助言 国際日本文化研究センター共同研究員としての助言 								
 <p style="text-align: center;">野崎家塩業歴史館所蔵資料調査</p>								
 <p style="text-align: center;">キトラ古墳壁画の材料調査</p>								
【定量的評価】項目	29年度実績	目標値	評価	経年変化	25	26	27	28
援助・助言等の件数	168件	-	-		43	29	65	112
【年度計画に対する総合評価】 評価：B			【判定根拠、課題と対応】 国内外の各機関の要請に応じ、168件の援助、助言、指導及び協力を行った。内容、件数ともに十分な実績をあげることができた。					
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、博物館関係者の情報交換・人的・文化財等防災ネットワークの形成等に努める。								
【中期計画に対する評価】 評価：B			【判定根拠、課題と対応】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助、助言及び協力をを行うとともに、博物館関係者の情報交換・人的・文化財等防災ネットワークの形成等に努めた。特にICOM京都大会に向けて、様々な委員会にも協力している。 来年度以降についても、各機関からの要請に応じ、専門的・技術的な面で支援し、文化財防災ネットワーク等の形成もさらに強化する予定である。					

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】 (4館共通) 1) 公私立の博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言を行う。								
担当部課	学芸部			事業責任者	企画室長 野尻忠			
【実績・成果】 (4館共通) 公私立の博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言は、72件あった。内訳は以下の通り。 ・文化庁、地方公共団体、公私立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力（各種委員会等の委員としての助言を含む） 23件 ・文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言 3件 ・文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導 25件 ・講演・セミナー・審査等での協力 14件 ・博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言 7件								
【補足事項】 ・文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言（3件）には、クリーブランド美術館で開催される特別展に学術協力し、日本国内の出陳依頼に同行するなどした件を含む。 ・文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導（25件）には、徳島県による文化財調査に協力し助言した件を含む。								
徳島県による文化財調査（10月30日）								
								
【定量的評価】項目	29年度実績	目標値	評定	経年変化	25	26	27	28
援助・助言等の件数	72件	-	-		71	58	58	62
【年度計画に対する総合評価】 評定：B			【判定根拠、課題と対応】 海外の美術館への助言をはじめ、国公立・私立を問わず博物館全般あるいは地方公共団体への援助・指導・助言を、幅広く実施できた。件数としては例年並のため、左記の評価とする。					
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、博物館関係者の情報交換・人的・文化財等防災ネットワークの形成等に努める。								
【中期計画に対する評価】 評定：B			【判定根拠、課題と対応】 数多くの協力要請に対し、可能な限り援助・助言を実施している。国内外の博物館だけでなく、寺社等からも文化財調査や保存について助言を求められることがあり、積極的に対応している。文化財の保存と活用に関わるすべての機関・人との交流・情報交換は、今後も強く意識を持って継続していく。					

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】 (4館共通) 1) 公私立の博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言を行う。 (九州国立博物館) 1) 地域の自治体と連携し、公私立博物館・美術館等職員のための古文書保存に関する専門講座を開催する。 2) 公私立博物館・美術館等職員・ボランティア等のためのI PM (総合的有害生物管理)に関する専門講座を開催する。								
担当部課	学芸部	事業責任者	部長(兼企画課長) 小泉恵英					
【実績・成果】 (4館共通) 1) 以下のとおり、公私立の博物館・美術館等に対する援助・助言を行い、年度計画どおり事業を実施できた。 ・文化庁、地方公共団体、公私立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力(各種委員会等の委員としての助言を含む(17件)) ・文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言(1件) ・文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導(15件) ・講演・セミナー・審査等での協力(58件) ・博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言(14件) (九州国立博物館) 1) 古文書保存基礎講座を開催した。 2) I PMシンポジウム、館内向けI PM研修、I PMセミナー、I PM研修を実施した。 I PMシンポジウムは、4月8日に文化財保存修復学会との共催により「博物館におけるI PMのこれから」と題して実施した。I PM研修は館内・機構内希望者向けの一日コース、及び一般向けの二日コースの合計2回を開催した。 I PMセミナーは、カナダ、イタリアからI PMに関わる研究者を招聘し、国内の博物館や研究所などからも最新の知見について報告してもらい専門講座として開催した。 ○全国歴史民俗系博物館協議会を、7月13日、14日に九州歴史資料館と共同で開催した。 熊本地震に関する文化財レスキュー事業活動報告や、博物館と地域振興をテーマに事業報告が行われ、活発な意見が交わされた。								
【補足事項】 ・4月8日に文化財保存修復学会と共催で、I PMシンポジウムを実施した(会場:当館、受講人数:126名)。 ・5月24日に、館内・機構内希望者向けのI PM研修を実施した(会場:当館、受講人数:24名)。 ・10月25日にI PMセミナーを開催した(会場:当館、参加人数:146名)。 ・10月26日～27日にI PM研修を実施した(会場:当館、受講人数:34名)。 ・30年1月19日、20日に古文書保存基礎講座を開催した(当館、筑紫野市歴史博物館、参加人数:24名)。								
								
I PM研修風景								
【定量的評価】項目	29年度実績	目標値	評定	経年変化	25	26	27	28
援助・助言等の件数	105件	-	-		64	57	67	87
【年度計画に対する総合評価】			【判定根拠、課題と対応】					
評定: B			九州地域の中核館としての役割を果たし、外部からの多くの問い合わせに対応した。また、当館の特色である文化財修理やI PMの普及啓発事業について外部からの要請をふまえて内容を吟味し研修を実施することができた。					
【中期計画記載事項】								
国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、博物館関係者の情報交換・人的・文化財等防災ネットワークの形成等に努める。								
【中期計画に対する評価】			【判定根拠、課題と対応】					
評定: B			中期計画に従い、当館研究員の専門性を生かし国内外の博物館等からの要請に応じて指導、助言を行うとともに、新しい内容に更新しつつ研修会を開催するなど、地域の核としての博物館の役割を果たしている。毎年新しい内容を取り入れるなど、今後のニーズも見据えてこれからもセミナー、研修等を実施していきたい。					